

「努力・実践事項」
【キーワード・主体性と想いやり】

令和7年度の努力事項 【 主体性 : _____ 思いやり : _____ 】

知 重点目標 Ⅰ	■目標………確かな学力の定着
	■手段・ゴールイメージ 1 一人ひとりに複式指導における学び方を育て、45分の授業の充実を図るとともに、 <u>振り返りの時間(習熟)を5分以上確保する。</u> 「主体的・対話的で深い学び」を目指し、各種学力検査で全学年、全領域で <u>平均(全国・県)を上回る</u> ようになる。 2 簡潔で分かりやすい指示・発問に努め、 <u>90%以上</u> の児童が集中して話を聴いたり、 <u>自分の考えを進んで発表したり</u> することができるようになる。また、 <u>友達</u> といつでも協力や対話ができる <u>授業環境</u> を整える。 3 <u>I C T機器等を活用して個人や集団でしっかり思考する場を工夫する</u> とともに、 <u>対話を通して、児童同士が教え合い、互いを高め合いながら、考えをまとめていく</u> ことができるようになる。 4 読書指導や読書環境の充実を通して、多様なジャンルの本に触れさせる。 <u>冊数の個人目標をもたせ、100%の児童が目標を達成できる</u> ようにする。
	■目標………豊かな心の育成
	■手段・ゴールイメージ 1 <u>あいさつや返事、礼儀の指導を徹底し、学校や家庭、地域で時と場に応じたあいさつやお礼など、80%以上の児童が常にできる</u> ようになる。 2 <u>想いやりのある行動や丁寧でやさしい言葉かけを90%以上の児童が常にできる</u> ようになる。 3 <u>ろうか歩行や室内での過ごし方など、自ら考えて判断・行動し、80%以上の児童がけじめのある行動が常にとれる</u> ようになる。 4 <u>学校・地域における行事やボランティア活動等に80%以上の児童が自主的に参加し、助け合いの心を育む。</u>
体 重点目標 Ⅱ	■目標………たくましい体の育成
	■手段・ゴールイメージ 1 <u>体育指導法の充実を図り、児童一人ひとりが全力で運動に取り組める</u> ようになる。また、 <u>友達と協力しながら活動(競技)する</u> ができるようになり、「 <u>県体力テスト</u> 」で <u>A及びB判定の児童が60%以上</u> になるようになる。また、課題である柔軟性、俊敏性を高める運動について計画的・継続的に取り組ませ、体力を向上させる。 2 <u>児童に「全校遊び」を主体的に計画させ、「昼休みは友達と仲良く過ごしている」と回答する児童が90%以上</u> になるようになる。 3 <u>立腰指導をし、「様々な場面で姿勢に気を付けている」と答える児童が90%以上</u> になるようになる。 4 <u>家庭と連携して生活リズムの改善やメディアの利用の注意喚起を図り、「8時間以上の睡眠をとる」と答える児童が70%以上、「毎朝朝食を食べている」と答える児童が90%以上</u> になるようになる。
	■目標………連携教育の推進
	■手段・ゴールイメージ 1 <u>保育園をはじめ、各校との体験活動等の相互交流のさらなる充実を図り、互いのよさを味わわせるとともに、職員間の研修や交流も行い、連携した教育を推進する。</u> 2 <u>町教職員研修会や町教育の日、集合学習等への積極的な取組を通して、小小・小中の連携した教育の充実を図る。</u> 3 <u>コミュニティスクールとしての機能を生かし、家庭・地域との連携を深め、ふれあい交流活動やふれあい運動会の充実・改善を図る。</u> また、 <u>キャリア教育の一環として、地域や保護者の人材を活用し、色々な職業を知る機会をつくる。</u>
	4 ホームページを活用し、家庭や地域に学校行事や児童の様子を発信し、情報提供を図る。